

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平6-21624

(43) 公開日 平成6年(1994)3月22日

(51) Int.Cl.<sup>5</sup>

A 6 1 F 13/46

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

2119-3B

A 4 1 B 13/02

B

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21) 出願番号

実願平4-60090

(22) 出願日

平成4年(1992)8月26日

(71) 出願人

000115108

ユニ・チャーム株式会社

愛媛県川之江市金生町下分182番地

(72) 考案者

伊賀上 隆光

愛媛県川之江市金生町下分18-60

(72) 考案者

丹治 浩之

愛媛県川之江市川之江町2436-1

(74) 代理人

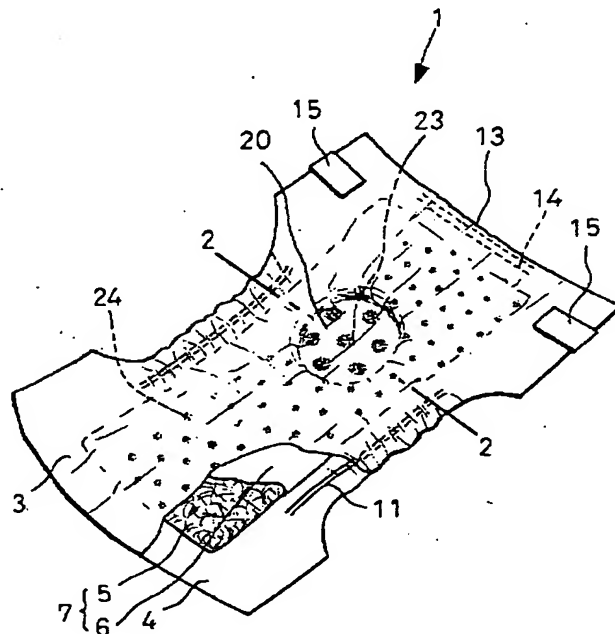
弁理士 白浜 吉治

(54) 【考案の名称】 使い捨ておむつ

(57) 【要約】

【目的】 大便受容用凹部の識別を容易にする。

【構成】 使い捨ておむつ1の臀部に大便受容用の凹部20を設け、吸収部材5と透液性表面シート3との間に設けた接合域23、24について、凹部20とその他の部分とで差異をつけるとともに、それら接合域23、24を表面シート3側から透視可能にしておく。

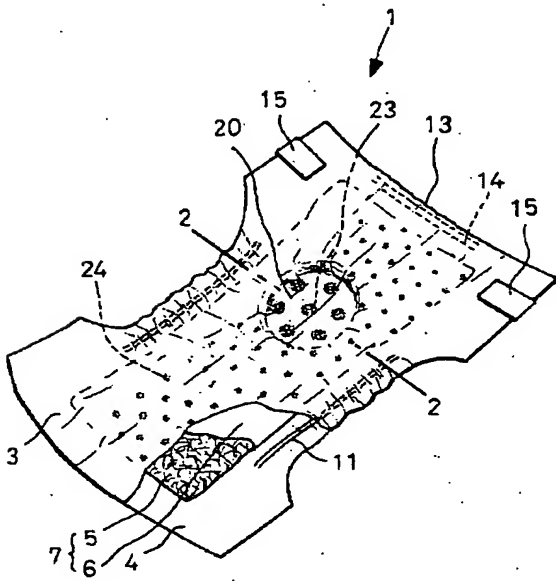


## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 透液性表面シートと、不透液性裏面シートと、これら両シートの間介在する吸収体とを有し、臀部が位置する該吸収体到大便受容用の凹部を備えた使い捨ておむつにおいて、

前記表面シートとして透視可能なものを用い、前記吸収体と前記表面シートとの間に設けた接合域の形状、色の種類、および色の濃度のいずれかについて、前記凹部と該凹部以外の部分との間で前記表面シート側からの透視可能な差異をつけることにより、前記凹部の識別が容易にしてあること特徴とする前記おむつ。

【図1】



## 【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案に係るおむつの部分破断斜視図。

【図2】 図1の2-2線部分断面図。

## 【符号の説明】

- 1 おむつ
- 3 表面シート
- 4 裏面シート
- 7 吸収体
- 20 凹部
- 23, 24 接合域

【図2】

